



2019年5月10日

各 位

会 社 名 株式会社エラン
代表者名 代表取締役社長 櫻井 英治
(コード番号 6099 東証第一部)
問合せ先 取締役管理本部長 秋山 大樹
(TEL. 0263-29-2684)

完全子会社の吸収合併（簡易合併・略式合併）に関するお知らせ

当社は、2019年5月10日開催の取締役会において、当社の完全子会社である株式会社エルタスク（以下「エルタスク」といいます。）を、2020年1月1日を効力発生日として吸収合併（以下「本合併」といいます。）することを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

なお、本合併は、完全子会社を対象とする吸収合併であるため、開示事項・内容を一部省略しております。

記

1. 合併の目的

エルタスクは、東北地方を中心に、病院に入院される方や、介護老人保健施設等に入所される方々に対して、衣類、タオル類の洗濯サービス付きレンタルと日常生活用品の提供を組み合わせた日額制のサービス（「LTセット」）を提供しております。なお、営業網としては、東北エリア4拠点（事業所所在地：岩手（本社）、宮城、青森、秋田）で展開しております。

また、当社が展開している「CSセット」とエルタスクが展開している「LTセット」は、サービス名は異なりますが、「入院セット」「入院日用品セット」と称される同種のサービスです。

このたび、経営資源の集約・効率的な組織運営を図るとともに、同一組織とすることでブランド力と社員の連帯感を高め、さらなる事業規模の拡大を図るため、同社を吸収合併することといたしました。

2. 合併の要旨

(1) 合併の日程

取締役会決議日（当社及びエルタスク）	2019年5月10日
合併契約締結日	2019年5月10日
合併期日（効力発生日）	2020年1月1日（予定）

本合併は、当社においては、会社法第796条第2項に定める簡易合併に該当し、エルタスクにおいては会社法第784条第1項に定める略式合併に該当するため、両社とも合併契約の承認に関する株主総会を開催することなく行います。

(2) 合併方式

当社を存続会社とし、エルタスクを消滅会社とする吸収合併方式であり、エルタスクは本合併終了後に解散いたします。

(3) 合併に係る割当の内容

当社は、エルタスクの全株式を保有しているため、本合併による新株式の発行、資本金の増加及び合併交付金、その他一切の対価の交付はありません。

(4) 消滅会社の株予約権及び株予約権付社債に関する取扱い

該当事項はありません。

3. 合併当事会社の概要（2018年12月31日現在）

	存続会社	消滅会社
(1) 名称	株式会社エラン	株式会社エルタスク
(2) 所在地	長野県松本市出川町15番12号	岩手県盛岡市中ノ橋通一丁目14番7号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 櫻井英治	代表取締役社長 安藤 剛照
(4) 事業内容	病院及び介護施設における「CSセット」サービスの管理運営	病院及び介護施設における「LTセット」サービスの管理運営
(5) 資本金	573,496千円	10,000千円
(6) 設立年月日	1995年2月6日	2006年1月31日
(7) 発行済株式数	15,150,000株	200株
(8) 決算期	12月31日	12月31日
(9) 大株主及び持株比率	(2018年12月31日現在) 櫻井 英治 26.93% 中島 信弘 21.25% 日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口) 9.55% 佐藤 幸夫 5.01% 日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口9) 3.13%	(2018年12月31日現在) 株式会社エラン 100%
(10) 直前事業年度の財政状態及び経営成績		
決算期	2018年12月期(個別)	2018年12月期(個別)
純資産	4,078,058千円	671,230千円
総資産	7,241,962千円	1,074,095千円
1株当たり純資産	133.99円	3,356,152.83円
売上高	16,474,458千円	2,110,847千円
営業利益	1,050,011千円	185,387千円
経常利益	1,134,210千円	188,308千円
当期純利益	781,980千円	121,946千円
1株当たり当期純利益	26.01円	609,730.85円

(注1) 代表者については、2019年5月10日現在を記載しております。

(注2) 当社は、2019年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、同日付けで発行済株式数が30,300,000株に増加しております。

4. 合併後の状況

本合併による、当社の名称、所在地、代表者の役職・氏名、事業内容、資本金、発行済株式数及び決算期の変更はありません。

5. 今後の見通し

本合併は完全子会社との合併であり、当社の連結業績に与える影響はありません。

以 上